

11期 ミュージアムへ行こう 2

第7回 テーマ 大阪中之島美術館
～ テート美術館展「光」
～ 長沢芦雪展

事前学習

- 1) 講座日時: 2023年11月9日 10時～12時
- 2) 場所: 豊中市くらし館3F
- 3) 講師: 大阪中之島美術館 主任学芸員 國井 綾 様



4) 概要・内容

★テート美術館(「Tate Britain」) ; 英国を代表する国立美術館 4館が一体
テートブリテン・テートモダン・テートリバプール・テートセントアイブス

★展覧会 “光”ーターナー、印象派から現代へ

Tate所蔵77,000点中117点を展示(ちなみに中之島美術館は約6,000点)

3年世界6ヶ所(中国・韓国・オーストラリア・ニュージーランド・東京)巡回、大阪が最終

★鑑賞ポイント

- ・神話と光 「光の創造」ジョージ・リッチモンド
- ・ターナーの光 painter of Light 風景画の始まり 反権威的(苦しむ人間を描く)
- ・ロマン主義の光
- ・コンスタブルの光 空(ソラ)の表現 ターナーのライバル(展覧会中に書き足す逸話)
- ・印象派の光 モネ《印象・日の出》に、由来 屋外にて制作
- ・20世紀の写真芸術(光の実験) バウハウス(芸術を総合的に捉える)の影響
- ・室内の光 北欧のフェルメール、英国のフェルメール
- ・インスタレーションの光 ロンドンと大阪はヘルツが違いー苦勞
- ・日本会場限定出品 ラファエル前派とその周辺
- ・音楽的な光

実は、

- …ラファエル前派の傑作「オフィーリア」ミレイ は、諸事情で断念せざるを得なかった
- …ロシア上空を飛べない影響も大きい
- …次の中之島美術館は「モネ展」



テート美術館展『光』ターナー、印象派から現代へ は5階
 長沢芦雪展 奇想の旅 天才絵師の全貌 は4階
 なんとも贅沢な美術館展 とても贅沢で充実した1日でした
 両方とも、平日朝にもかかわらず沢山の入場者でした

国井主任学芸員による、テート美術館展の事前学習に加え
 BS日テレ‘ぶら美‘やテレ東‘新美‘で予習する機会がありました
 すなわち、このイベントは全国的に、美術ファンのにも
 とても注目されている、重要な展覧会なのですね

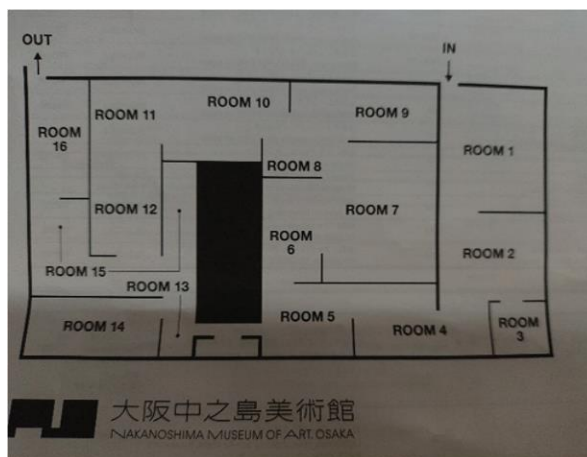
……それにしても、「ぶらぶら美術館、博物館」が、突然
 終わってしまったことは、とてもとても残念です。
 「新・美の巨人たち」は、頑張っ!! と、祈るばかり

鑑賞1 中の島美術館5階特別展 2023年11月16日 午前 テート美術館展 『光』ターナー、印象派から現代へ

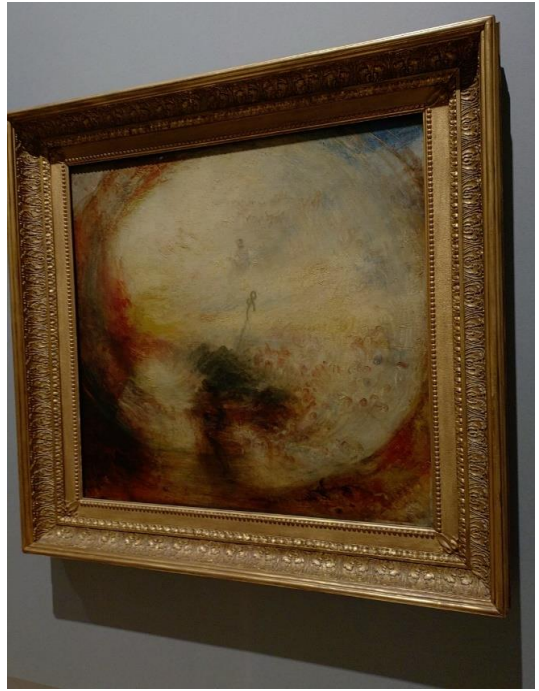


テート美術館のコレクションから
 「光」をテーマに、18世紀末から
 現代まで(時代別ではなく、)
 テーマ別に16のブースに展示
 宗教画・風景画・ロマン派
 印象派・ラファエル前派
 写真・映像芸術・バウハウス
 現代アート 等を縦断する
 斬新で、非常に面白い美術展

あ、もう出口?と、また逆戻りした人は
 私だけではないみたいです
 写真撮影は、一部の現代アートを
 を除き、ほぼOKでした



☞Room1 最初の作品は リッチモンドの「光の創造」
 そう、この美術展の正にテーマです。となりが、
 ブレイクの「アダムを裁く神」 何とユニークな
 (売店で、この絵のパンツ売ってました びっくり!!)



* 本展の目玉はやはり、
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー
そして ライバル
ジョン・コンスタブル
が、ポンペイの悲劇を描く3作を隔て
ほぼ連続して展示している

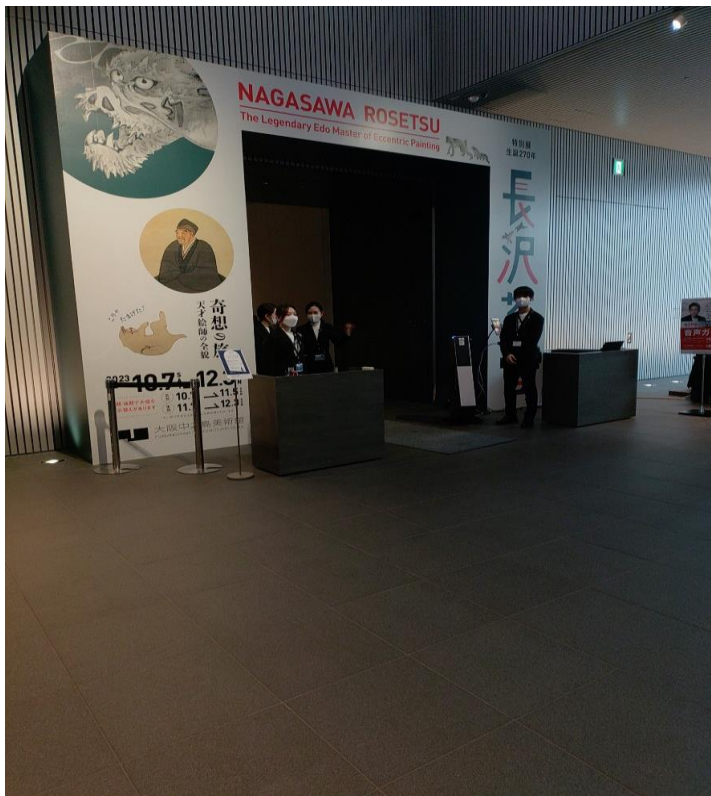


さらに、
カンディンスキー、ライリー
ロスコ、リヒター、ラスロー
クロード・モネ、シスレー
…… 見逃しそうでした

「去ってゆく冬」
そして、本展最後の作品
エリアソン「星屑の素粒子」

綺麗で斬新、驚きと謎

鑑賞2 中の島美術館4階特別展 2023年11月16日 午後
長沢芦雪展 奇想の旅 天才絵師の全貌



こちらは、ほぼ全点 写真撮影NG
掲載できず残念です
京都、和歌山で活躍した応挙の弟子
とても親しみやすい作品ばかりでした

長沢芦雪と円山応挙
それぞれが描いた
牡丹・孔雀と幽霊
隣り合わせで展示
驚きました

ふすま絵には圧倒されました
龍(島根 西光寺)
猿(兵庫 大乘寺)
虎(奈良 薬師寺)

芦雪が描く生き物
鶴・亀・龍・虎・孔雀・蛙・鯉・兎・蛸・牛
鵜・鼠・猿・猫・子犬、そして酔っ払い
みんなみんなとても可愛い



入り口近くのモニュメント
「シップスキャット」前で
記念の写真撮影